

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	家庭ごみ収集運搬委託業務	4-7
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	2
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	市民生活部ごみ対策課	直通電話	72-3126
担当部長	川又 和雄	担当課長	藤岡 修一
		担当者	吉田 恵

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	家庭ごみの戸別収集を実施する。		
(2)事業開始年度	平成18年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	4 豊かな自然を守り育てる	
	施策項目(大)	(3)資源循環型社会の実現	
	施策項目(小)	資源循環型ごみ処理体制の確立	
	施策コード	40302	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	家庭ごみの収集運搬を行なう。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	各家庭から排出されるごみを適正かつ効率的に収集し処理場に搬入する。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	一般廃棄物収集運搬業者に委託し収集運搬を行なう。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	ごみの収集は市町村の直営や委託で行っている。また、全道各市町村でもごみの有料化が進んでいる。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区 分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)		231,022	302,190	300,923
(2)その他の間接経費(千円)		44,175	41,176	
(3)従事正職員の人件費(千円)	0	20,713	11,662	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	0	295,910	355,028	
事務に従事した正職員延べ人数		2.50	1.30	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収 入	区 分	H17	H18	H19	H20予算	支 出	区 分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)										
	計(B)	0	0	0	0			計	0	0	0
	(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
戸別収集世帯数	目標値		未設定	未設定	未設定
	実績値		25,291	25,579	
	達成率		-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
戸別収集取り残し件数	目標値		0	0	0
	実績値		1,360	704	
	達成率		-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない	1 2 3
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	イ 成果	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない
(2) 効率性		ウ 事業内容	1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	(1)~(4)の評価ポイント合計	
(3) 公平性		総合評価の参考にしてください。	
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	7~11	A or B
		12~15	B or C
		16~21	D or E
12			

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		ステーション収集方式から戸別収集方式に変更したことにより、ごみ分別と、排出マナーの向上が図られている。ごみの収集漏れなどが見受けられるが、徐々に減少している。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	(2) 今後の方向性・課題	
		ごみの分別、排出ルールの徹底が図られるよう指導を行う。戸別収集の取り残しがないよう指導を行なう。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		家庭ごみの戸別収集業務等順調に実施されている。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	(2) 今後の方向性・課題	
		継続的に安定した業務を執行する。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		